

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立豊島高等学校

|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 科目  | 情報の科学   | 2単位    |
| 対象  | 第3学年    |        |
| 教科書 | 新・情報の科学 | 日本文教出版 |
| 副教材 |         |        |

|      |  |
|------|--|
| 教科担当 |  |
|------|--|

|    |  |
|----|--|
| 目標 | 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。 |
|----|--|

| 学期      | 月  | 時間 | 単元                      | 内容  | 留意点  |
|---------|--|----|-------------------------|---|--|
| 1<br>学期 | 4  | 26 | 導入<br>コンピュータによる情報の処理と表現 | 情報社会における情報の扱い方を理解する。<br>コンピュータにおける文字、画像等の適切な表現方法や圧縮のしくみについて理解する。            | 情報の扱い方に関する正しい知識を理解させる。<br>情報の編集や統合に関する理解を深めさせる。                |
|         | 5  |    |                         |   |  |
|         | 6  |    | ネットワークがつながるコミュニケーション    | ネットワークやインターネットのしくみについて理解する。<br>ネットワークを利用したオンラインコミュニケーションのしくみと情報モラルについて理解する。 | インターネットの歴史やしくみについて理解させる。<br>SNSなどの特性や課題について理解させ、適切に行動できるようにする。 |
|         | 7  |    |                         |   |  |
| 2<br>学期 | 9  | 28 | 情報システムが支える社会            | さまざまな情報システムや情報サービスについて理解する。<br>情報社会における法律や情報モラルについて理解する。                    | 情報技術の発達をもたらす利便性・危険性を深く学び、より豊かな社会をつくるためにはどうすればよいのかを考えさせる。       |
|         | 10   |    |                         |   |  |
|         | 11   |    | コンピュータによる情報の処理とプログラミング  | 表計算ソフトウェアを使ったデータの処理について理解する。<br>アルゴリズムについて理解し、簡単なプログラムがくめるようにする。            | 効率的に情報処理ができるように手順や処理方法について考えさせる。                               |
|         | 12   |    |                         |   |  |
| 3<br>学期 | 1  | 12 | モデル化と問題解決               | モデル化が果たす役割について理解する。<br>さまざまな問題に対して、それを構成する要素と関係を明らかにし、問題解決ができるようにする。        | 1年間で学んだコンピュータのしくみやデータの処理手順、情報の扱い方を復習し、自ら問題解決ができるようにさせる。        |
|         | 2  |    |                         |   |  |
|         | 3  |    |                         |   |  |
| 評価      | (観点・方法)<br>課題や定期考査を通して、情報の適切な扱い方や情報を適切に活用するための方法を理解したかを確認する。また、自主的に課題等に取り組み、自分の考えを表現し、調査したことを情報処理することができるかを評価する。 |    |                         |   |  |